

- ▶ 日本語に興味津々! ひらがな と カタカナ<その2>
- ▶ マメ知識: 2020年に大きな転換期を迎える日本の教育!
- ▶ フォント あ・ら・かると: 「ソフトゴシック」
- ▶ DTP人生相談室: Illustrator CC2019 の「カスタムツールバー」について
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本 文: TBUD 明朝 (M)
- 見出し: 解ミン 宙 (B)

www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

日本語に興味津々! ひらがな と カタカナ<その2>

明治33年に公布された『小学校令』による仮名の統一を起点に「ひらがな制定120年」を迎える2020年。本紙165号掲載の〈その1〉では、仮名の成り立ちについてご紹介しました。その続編となる今回も、著者の独創的な発想で歴史背景と重ね合わせながら仮名の変遷を辿ります。

本記事は、「我楽多頓陳館」(www.snap-tck.com/)のご好意により掲載しています。

前回のあらすじ

ひらがなとカタカナは、ともに平安時代初期につくられた音節常用文字であるにもかかわらず、その特長や背景は大いに異なっています。

カタカナは、漢文を訓読するための補助文字として、漢字の一部を取ってつくられたものです。非常に安定した文字であるカタカナは、平安時代中期には既に現行に近いものに整備されています。

一方、ひらがなは、奈良時代後期から平安時代初期にかけて和歌などの非公式な文章に用いられた万葉仮名を草書体にした「草(そう)」を原型とし、さらに宮中の女官たちが簡略化して、女性の間で用いられた「女手(おんなで)」を経てひらがなとなりました。

このような表音文字体系を2種類併用している例は、世界中でもおそらく日本語だけです。

それでは、なぜ2種類の音節常用文字が生まれ、定着したのか、今回は日本の歴史を紐解きながら辿ってみましょう。

文字と歴史の関わり合い

古代文明の絵文字は、飛鳥・奈良時代には原始的な線文字にまで発展していたと考えられています。その初期の線文字は、漢字のように表意文字的な使い方と表音文字的な使い方が混在していることが多く、たとえば一般名詞や動詞を表す文字は表意的に、語尾変化や助詞、固有名詞を表す文字は表音的に使われたりします。漢文を訓読しようとした時、そういった線文字の持つ「表意+表音的」な使い方を参考にして、

漢字を表意文字とし、その補助文字として表音的な文字をつくることを思い付いたとは考えられないでしょうか。そしてその表音文字つまりカタカナは、基本的に漢字の一部を取ってつくりにしたものの、適当な漢字がないものについては、初期の線文字段階にあった日本の固有文字を流用したのではないのでしょうか。

この憶測を裏付ける考古学的な資料は、現在のところ岩戸文字*などごくわずかしがなく、しかもこれらの古代文字が残された正確な年代は、残念ながらはっきりしていません。しかし興味深いことに、これらの古代文字の一部にはカタカナに良く似た字形の文字(とくにア、キ、サ、ス、ヘ、ラ、ワ)があるのです。もちろんそれらの固有文字が本当に存在していたとしても、それらに関する資料も伝承もほとんど残されていないことから考えて、広く民衆に用いられていたとは考えられず、一部の学者や神官だけが用いていたと思われる。

もし、この考えが正しければ、カタカナが最初から権力者や神官や学者用の公式文字的な性格を持っていたとしても不思議ではありません。仮名は「神名(かむな)」に由来していて、カタカナは、本来は「象神名(かたかむな、神の名を表す象形文字)」であったと主張する研究者もいますが、この説も一理あるのかもしれませんが。

これに対して、ひらがなはカタカナの影響を受けて、万葉仮名の草書体から自然発生した表音文字と考えられます。万葉仮名は古代朝鮮の「吏読(イドウ)」と呼ばれる表記法を真似たものと考えられ、カタカナとは別の発生系統を持っています。このためひらがなは最初から女性を中心とした一般民衆が用いる非公式な文字体系だったのかもしれませんが。

また、ひらがなはカタカナの影響を受けたため、カタカナの字形に似せて崩した文字が多く、とくに「へ」は適当な漢字が無いので、カタカナをそのまま流用したものとされます。ひらがなは基本的に漢字の草書体から発達したため、筆で書くのに適した字形をしています。カタカナは漢字の一部を取ったせいもあるでしょうが、どちらかといえば土器や石などに線刻するのに適した線文字系の字形です。これは、何となく2種類の文字の起源を暗示しているような気がしないでもありません。

では今までの憶測に基づいて、カタカナとひらがなの発生について、少々SFチックなシナリオを想像してみましょう。

古代歴史ロマン

いまから1万年以上も前から紀元前300年頃まで、日本列島西部には南方系モンゴロイドがいて縄文文化を築いてきました(関東以北と日本海側には北方系モンゴロイドも住んでいたと思いますが、ここではその話に深入りしません)。縄文時代は新石器時代に相当し、10万~20万人の人口で、それなりに安定した狩猟採集生活をしていました。

それが縄文時代晩期になり、朝鮮半島から北方系モンゴロイドが集団で渡来してきます。彼等は青銅器から鉄器時代に相当する大陸の進んだ文明と稲作技術を持っていましたので、それまでの狩猟採集生活を稲作を中心とした農耕生活に変えてしまいました。こうして、縄文時代から弥生時代へと移行します。



* 宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸に鎮座の「天岩戸神社」の近くにある天岩戸の岩窟から掘り出された甕(かめ)の蓋石に記された文字。

この時、渡来してきた北方系モンゴロイドの人数は、それまで日本列島にいた南方系モンゴロイドの10倍近くにもなり、またたく間に九州地方、中国・四国地方、関西地方、中部地方に広がり、人口が一挙に100万人ほどに膨れ上がりました。稲作により食料供給が安定したため、これ以後、日本列島の人口は急激に増加していくことになります。

この時の2系統のモンゴロイド民族の関係は、争いによる征服・被征服といった関係ではなく、文明の進んだ民族が文明の遅れた民族を文明化したといった関係でした。何しろ新しく渡来した北方系モンゴロイドは人数が圧倒的に多い上、文明の程度にも歴然とした差がありましたので、争いを起こす必要もなかったのです。元々住んでいた縄文人は新しく渡来した民族に吸収同化され、両者の文化が混合して独特の融合文化が生み出されました。これが、南方系の海洋文化と北方系の大陸文化が融合した弥生文化です。



融合と混成言語の形成

この融合の過程で、北方系モンゴロイドが使っていた古代朝鮮語に南方系モンゴロイドである縄文人が使っていたオーストロネシア語族（現在のマレー・インドネシア語、ポリネシア語、メラネシア語等の言語一族、インド・ヨーロッパ語族に近い文法を持つ）の語彙が入り込み、独特の混成言語「古代日本語」が形成されます。

ある民族が他の民族を征服して吸収同化した場合、征服した側の言語と征服された側の言語が混ざり合い、独特の混成言語（ピジン言語）が形成される場合があります。たとえばソロモン諸島では、このようなピジン言語の文法や語彙が、さらに整備・統一されて完成した言語（クレオール言語）となり、いまでは母語（幼少期から自然に習得する言語）として共通語にピジン（英語）が使われています。

こうして古代日本語が形成されると同時に、縄文人の卓越した絵画能力と渡来人の進んだ文化とが相まって、日本固有の絵文字が発明されます。中国の漢字は志賀島の「漢委奴國王」の金印（紀元57年）でわかるように、弥生時代中期には既に日本に伝わっていましたが、それを使いこなすまでには至っていませんでした。

縄文時代晩期から弥生時代初期に渡来してきた人達の一部は、瀬戸内海を経由して、現在の畿内一帯に広がり、どこことなく故郷の朝鮮半島内

陸部を思わせるその土地に定住します。彼等は早い時期に日本列島に渡来したため、縄文人との融合度が高く、比較的穏和な農耕民族となっていました。そして馬鈴を発達させて銅鐸とし、農作業用の道具として利用したり、表面に絵文字を刻印して祭具として祭ったりしました。こうして彼等は、畿内を中心として「銅鐸文化圏」を形成します。

弥生時代中期から後期に遅れて朝鮮半島から渡来してきた人達は、九州北部から瀬戸内海西部に広がり、畿内とは別のグループを形成します。彼等は戦国時代になっていた中国大陸や朝鮮半島の影響を強く受けた、比較的好戦的な民族で、銅剣と銅鉾に象徴される「銅剣・銅鉾文化圏」を形成します。やがて北九州一帯を統一したある部族が、畿内にいた部族まで支配下に組み入れようと東進を開始します。この争いは大陸のより進んだ戦争道具、すなわち鉄器を中心にして武装していた九州の部族の勝利に終わり、彼らは畿内に進出して、以前からそこにいた多くの部族を支配下に入れます。こうして日本初の統一王朝・大和朝廷が成立し、時代は古墳時代へと移ります。

古墳時代にも朝鮮半島から渡来人がたくさんやって来ますが、日本が独立国としての体裁を整える奈良時代までは、渡来人は「今来（いまき）の人」と呼ばれていて、「帰化人」とは呼ばれていません。これは、この時代の日本人の出自を考えれば当然のことです。



仮名の誕生と進化

大和朝廷は出身地である朝鮮半島と密接な関係にあり、中国文化を取り入れるのにも積極的でした。まず漢字を取り入れて漢文を国の公式な文字体系にし、ついで仏教を取り入れて、仏教を中心として国を治めていこうとします。そして大化の改新の後、律令制度を取り入れて法治国家としての体裁を整え、各部族に伝わっていた神話と歴史を都合の良いように再編集して、天皇支配の正当性を強調します。

独立国としての体裁が整うと、中国の物真似一辺倒から脱し、日本独自のものを確立しようとする動きがでてきます。その一つが、文字体系を日本語に合ったものにしようとする動きです。色々と試行錯誤した後、当時の国際社会の共通語である中国語からかけ離れないように、原則として漢文を中心とし、それを日本語で訓読するために補助的な表音文字をつくることになります。そ

の表音文字は基本的に漢字の一部を取ってつくるものの、適当な漢字がないものについては、各部族の間に伝わっていた日本古来の固有文字を流用することにしました。

歴史に育まれた日本語

日本古来の固有文字であった絵文字は、主として畿内にいた部族の神官などによって細々と伝えられ、それでも原始的な線文字段階にまで発達していました。それらの固有文字は日本独自のものでしたし、一応、一部の神官や学者が使っていましたので、日本の独自性を打ち出すのに好都合だったのです。こうしてつくられたカタカナは、それまでの固有文字に形が近いので、すぐに字形が安定して漢字の補助文字として定着します。

このカタカナに刺激されて、万葉仮名の草書体から主として宮中の女官達の手によって、ひらがなが自然発生します。ひらがなは非公式な表音文字でしたが、筆に適した書きやすさから、次第に広く使われるようになります。

やがて長い年月を経てようやくひらがなが定着した頃、今度は欧米の文化とアルファベット文字体系が日本に入ってきます。外国の文化を取り入れることにかけては、弥生時代から得意だった日本人は、その新しい欧米の言葉と文字を漢字と同じように独自の方法で消化し、準日本語として取り入れてしまいました。中国の漢字が日本では読みも意味も多少異なったものとなり、和製漢字である「国字」までつくってしまったのと同様に、欧米の外来語がその元々の言葉とは読みも意味も多少違ったものとなり、和製英語までつくってしまうところなど、まさに日本人の面目躍如たるどころです。

外来語の氾濫に「美しい日本語が乱れる!」と反発する人もいますが、その「美しい日本語」を奈良時代以前の日本人が聞いたら、「何という中国語かぶれの、汚い日本語だ!」と驚くことでしょう。どんなものでも自分達なりに消化して取り入れてしまう柔軟性が、良きにつけ悪きにつけ、弥生時代以後の混血日本人と混合日本語の大きな特徴といえるでしょう。

ここに記したシナリオは夢想にすぎませんが、ちょっとした疑問をとっかかりにして、こんな空想の翼を広げてみるのも楽しいものです。日本の古代史には多くの謎がありますから、空想の翼を広げる余地はたくさんあります。読者のみなさまも海外に目を向けるばかりではなく、お住まいの地域の習慣を調べてみたり、歴史を辿ってみることで新たな発見に出会い、感動を得ることもあるのではないのでしょうか。



さまざまなメディアで「教育ICT」が騒がれています。日々、教育分野に携わっておられる方々は、その改革を詳しくご存知のことと思いますが、学校教育などの学習環境と触れ合う機会が少ない方にとっては、その変化を知る術もないのが正直なところではないでしょうか。

◆ 次期学習指導要領

2020年に小学生の教科書が新しくなります。それに伴い教育課程も大きく変わります。具体的には、外国語活動(英語の聞く、話す)が3・4年生から始まり、5・6年生の英語授業では「読む、書く」も加わって正式教科となります。また、情報通信技術 (ICT) 時代に対応した人材育成に向けてプログラミング教育も導入されます。

小学校から高校まで、すべてに導入される「アクティブ・ラーニング」(主体的・対話的で深い学び)は、学習者同士の学び合い、教え合いを授業で増やそうとする試みで、「何を学ぶか」より「何ができるようにするか」「どのように学ぶか」に力が置かれます。

高校では27科目が新設・改訂され、とくに地理歴史・公民分野は大きく変わります。18歳選挙権の導入で重要となる主権者教育を担う「公共」、国際協力や防災を扱う「地理総合」、日本と世界の近現代を学ぶ「歴史総合」などが新設されます。また、「日本史探訪」「地理探訪」

「理数探訪」など、課題を探究する能力を育むことも明確に示されています。

◆ 大学入試改革

大学入試センター試験に代わり、「大学入学共通テスト」(以下、「共通テスト」)が2020年度(2021年1月)から実施され、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科30科目から選択して受験することとなります。

従来と異なる点は、知識偏重型ではなく、思考力・判断力・表現力などの能力を総合的に問うテストとして設計されたことで、その特徴は、

①一部の科目で記述式問題が課せられる

20年度から国語と数学、24年度以降には地理歴史・公民や理科分野にも記述式問題が導入される予定です。

②英語科目で4技能が評価される

これまでの大学入試センター試験での「読む」「聞く」に加え、「話す」「書く」も評価項目に加わります。この4技能評価について、

文科省は民間の資格・検定試験(「ケンブリッジ英語検定」「TOEFL iBT」「TOEIC L&R/S&W」など)の活用を政策として打ち出しています。

◆ 高大接続改革

グローバル化の進展や人工知能技術をはじめとする技術改革に伴い、社会構造が急速かつ大きく変革している状況においては、従来型の暗記重視の教育とは異なり、新たな価値を創造していく力を育てなければなりません。そのため義務教育段階から一貫した理念のもとで、「学力の3要素」(①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を育成・評価することが重要とされています。とくに高校教育での確実な育成と大学教育でのさらなる伸長を図るために、それを繋ぐ大学入学者選抜においても、多面的・総合的に評価するという一体的な改革が計画されています。

永 フォント あらかると

ソフトゴシック

▶ 今月号のあらかるとでは、特徴的なデザインの丸ゴシック体「ソフトゴシック」をご紹介します。

「ソフトゴシック」は、丸ゴシック体の中でも新しい表情を持つ書体です。通常の丸ゴシック体にはない「ゲタ」と呼ばれる、漢字の縦画にある下への突出しを持っています。そのため、文字の角に変化が付き、丸ゴシック体の中でもひと味違ったユニークな印象となっています。骨格は「新ゴ」をベースにしており、LからUの7ウエイトを備えているため、使いやすさから多彩なシーンで活躍できます。豊かで特徴的な面持ちと、柔らかく明るいイメージを持つ書体ですので、これから春に向かっていく時節の演出にぜひご活用ください。



● 使用例



「ソフトゴシック」は、『MORISAWA PASSPORT』をご契約のお客様はいつでもインストールしてご利用いただけます。『MORISAWA Font SelectPack 1 / 3 / 5』、および Web フォントサービス『TypeSquare』でもご利用いただけます。

飯田橋の母が斬る!

DTP人生相談室

人生相談師「飯田橋の母」こと武蔵野ふみ子先生が印刷会社勤務時代の経験を活かし、迷える現代人のお悩みをDTPの力で解決します。



今回のテーマは—— Illustrator CC2019 の「カスタムツールバー」について

お悩み「PCを持ち帰っても仕事をしない」

ペンネーム：目標は保証

土日在家で仕事を進めようと思って、パソコンを家に持って帰ることがあります。だけど、持って帰ってもパソコンを開かず週末が終わります。月曜日の朝、一度も開かなかったパソコンを持って通勤していると、何ともむなししい気分になります。どうすれば家にパソコンを持ち帰り、仕事をすることができるのでしょうか？

よく聞けるのが、パソコンを鞆に入れたまま、一度も出さずに月曜日に出社するケースね。人の心は目に入らないものを無視するから、家に帰ったらパソコンは目につくところに置きましょう。おすすめは食卓よ。

食事のときもパソコンは食卓の見えるところに置いておくの。そして食事がすんだら食器を片付ける前に、まずパソコンを開いて切りのいいところまで仕事をするの。食事は習慣化された行動だから、食事の後に絶対仕事をすると決めておけば、習慣に組みやすいわ。

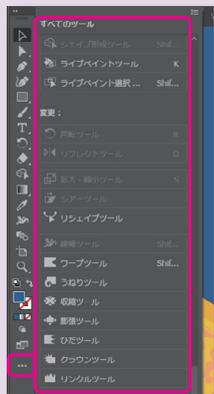
「目につくところ」といえば、Illustrator CC2019では「カスタムツールバー」という機能が追加されたわ。CC2019では、ツールパネルの「**…**」マークをクリック(図①参照)するとすべてのツールの一覧が見れるの。いまやIllustratorには80以上のツールがあって、何がどこにあったかも忘れちゃうからね。一覧が見れるのは便利よね。

さらに**ツールパネルを自由にカスタムできる**(図②参照)から、あなた

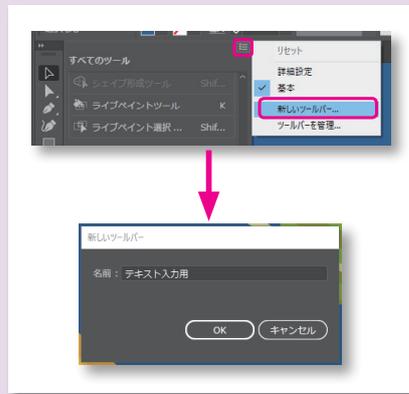
がよく使う機能を使いやすく配置した**お好みのツールパネル**(図③参照)をつくることができるわ。これで大幅に作業効率のアップが見込めるわ。

ちょっと話がそれちゃったけど、あなたはお悩み解決方法について、「食器も片付けずに仕事をするなんてお行儀悪い!」と思ったかもしれないわ。だけど家にパソコンを持ち帰ることも、お休みの過ごし方としてお行儀が悪いと私は考えるわ。そりゃあ、本当にやらなきゃいけない時もあるでしょうけど。

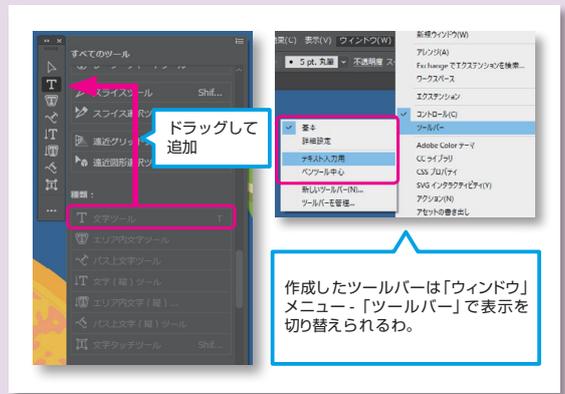
もし今まで土日に仕事を進めなくても、その後の頑張りで乗り切ることができていたのであれば、もともとパソコンを持って帰る必要なんてなかったのよ。解決すべきは、パソコンを開かないあなたじゃなくて、パソコンを持ち帰るあなた。パソコンを持ち帰る人の方が努力をしているように見えるけど、持ち帰らないという選択も、立派な努力の形。あなたは賢いから、決断できるはずよ。



① ふみ子's ポイント
ツールバーの下の「**…**」をクリックすると、「すべてのツール」ドロワーが出てくるわ。



② ふみ子's ポイント
フライトアウトメニューから新しいツールバーを作成できるわ。ツールバーの名前を任意で入力してね。



③ ふみ子's ポイント
ドロワーからツールバーにツールをドラッグして追加、好きなツールを並べたツールバーができるわ。

イベント情報

文字や書体の特性、組版における考え方の基本、デジタルフォントに関わる基礎知識を学んでいただける1日セミナーを開催。
お申込みは <https://morisawa.eventcreate.net/event/3005>

文字組版の教室

【東京】開催日：4月19日(金)・5月24日(金)／10:00～17:00
会場：株式会社モリサワ 東京本社 9F・セミナールーム

【大阪】開催日：4月23日(火)／10:00～17:00
会場：株式会社モリサワ 本社 4F・セミナールーム

編集後記

2月後半から東京は暖かい日々が続く春本番を感じますが、同時に花粉の飛散も本番を迎えたようで、通勤・通学時にはマスク姿の方々を多く見かけます。四季のある日本、また縦に長い列島では、各地で季節感や風習が異なりますが、情報は万人に迅速かつ正確に届き、伝わることが重要です。今後、外国人の来訪が増え、習慣の異なる方と接する機会も多くなことを考え、伝達手段や表現力をいまのうちに整えておきたいものです。

✉ E-mail: m-news@morisawa.co.jp

発行：株式会社モリサワ 企画・編集：プリンティング事業部 営業企画部
※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ www.morisawa.co.jp

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-6-25 Tel:06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-27 Tel:03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺 1-3-8 Tel:022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-5-10 Tel:052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西 2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-3-25 Tel:092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町 11-3 下田平ビル2F Tel:099-252-2255